

上野合小学校は、今年で138周年を迎えました。総合的な学習の時間では、小学校の不思議について調べました。上野合小学校は、歴史と伝統のある学校ということが分かりました。次に、私たちの住んでいる上野合地区に興味をもちました。学校の周りには、お寺や神社がたくさんあります。夏のお盆の時期になると、お寺にお墓参りに行ったり太鼓の音が聞こえてきたりします。私たちの近所には、歴史的な文化財や伝統的な行事がたくさんありました。円福寺というお寺の仏像と下座地区の太鼓とお囃子を紹介します。



「阿弥陀如来坐像」

おばあちゃんから「円福寺には国指定のあみださまがいますよ。」と聞きました。円福寺には、国指定の文化財「阿弥陀如来坐像」があります。平安時代末から鎌倉時代に作られました。寄木造りで漆箔塗です。座高は84,3cmありました。



「木造 阿弥陀如来三尊像」

県指定の文化財「木造 阿弥陀如来三尊像」です。室町時代に造られました。右は勢至菩薩，中央は阿弥陀如来，左は観音菩薩です。



「下座の太鼓」



太鼓の歴史は縄文時代から伝わっています。昔は、遠くの人に情報を伝える役割がありました。今は神様や仏様に人の気持ちを伝えるや役割があります。



「お田植え祭」



下座のお祭りは、「お田植え祭」と言い、西暦1616年頃から始まりました。毎年7月の第一日曜日に下座のお寺で行います。その年のお米がたくさんとれるように、仏様に願うものです。



感想・まとめ

- ・下座の太鼓は、約850年前から始まっていました。今まで伝えられてきたということが、すごいと思いました。
- ・太鼓を叩くことによって、お米から悪い虫を追い払ったりお米がたくさんとれるように願ったりすることが分かりました。
- ・阿弥陀様にお祈りすると、幸せになったり天国に行けたりすることが分かりました。今年のお墓参りには、阿弥陀様によくお祈りしたいと思います。
- ・自分の住んでいる地域に、国指定や県指定の文化財があってすごいなと思いました。これからも大切にしていきたいです。
- ・地域のことについて、もっと知りたいと思いました。